

世界音楽における即興 シリーズその1

北インド古典音楽



3夜連続講義 & コンサート in

講義

日本で唯一のインド音楽理論書『インド音楽序説』の翻訳者である HIROS こと中川博志さんを講師に招き、北インドの古典音楽についてお話しを伺います。インド音楽は即興の音楽ですが、どのようなシステムに基づいて即興演奏が作られていくのかということを中心に、各回最初にテーマに基づいたレクチャーを行ない、続いてC.A.P.の下田が聞き手となり進行します。必要に応じて音源を聴いたり、資料をみたり、あるいはCDにあわせてリズムをとってみたり。インド音楽ファンはもちろん、即興や作曲というかたちで音楽を創造している方には是非来て頂きたいプログラムです。

コンサート

北インド古典音楽は即興の音楽です。演奏家は厳しい訓練を積み、演奏の現場で常に新しい旋律を生み出します。また、エキゾチックで独特な印象がありますが、例えば西欧のバイオリンなどがよく使われるように、楽器にとらわれない音楽創造システムとしての普遍性を持っています。演奏中、一瞬後に自分が出すべき音を選択し続けるミュージシャンのスリルと喜びを感じてください。

日時 2011.6.17(金) 19:00~ 「ラーガ；即興の旋律」
 6.18(土) 19:00~ 「ターラ；循環する拍節」
 6.19(日) 16:00~ 「インド音楽のたのしみ」
 ※ 18日は Slit BAR 同時開催

講師 HIROS / 中川博志 (インド音楽演奏・研究家)
料金 各回1,000円 / 全回一括は2,400円 (会員：1ドリンク付)

日時 2011.6.25(土) 19:00~
演奏 HIROS (バンスリー)、田中りこ (タブラー)
料金 前売予約 2,000円 (会員 1,600円)
 当日 2,500円